

2011年(平成23年)12月1日 木曜日



日本音楽コンクール作曲部門で3年連続2位になり、西田正則市長に報告する藪田翔一さん＝たつの市役所

たつの出身の藪田翔一さん

若手音楽家の登竜門「第80回日本音楽コンクール」作曲部門で、たつの市御津町出身の藪田翔一さん(28)が3年連続2位になった。市役所をこのほど訪れた藪田さんは「より良い作品が作れたら来年も出品して優勝を目指したい。たつの市の音楽の発展にも協力したい」と意気込みを語った。藪田さんは3歳から、ピアノ教師の母みさのさんの(62)の指導でピアノを始めた。8歳で練習をやめたが、中学3年のころ

日本音楽コンクール
作曲部門3年連続2位
「故郷の音楽発展に協力」

からミュージシャンの小室哲哉さんにあこがれ、ポップスを作り始めた。龍野高校3年の時、作曲家を目指すことを決め、東京音大に進んだ。同大大学院生になった2009年に同コンクールで2位。10年はオーケストラの曲を出し、またも2位だった。大学院を修了後、今年10月に東京都内で本選があり、自分の作曲を整理するつもりで弦楽四重奏を手掛けた。「音が空間を切り裂くような音

の出る瞬間をテーマにした」という現代音楽で3回目の2位に。「周囲の評判は昨年の方が良く、順位が落ちなくてほっとした」と振り返った。藪田さんは作曲した無伴奏混声合唱組曲「虹の輪」を、5月に発足した市音楽協会に贈った。来秋には欧米に留学するという。(古根川淳也)

2011年(平成23年)12月1日 木曜日

たつの出身・藪田さん
3年連続2位の快挙
日本音楽コン・作曲部門



たつの市御津町出身で東京音楽大学大学院をこの春修了した藪田翔一さん(28)が、東京であった第80回日本音楽コンクールの作曲部門で2位に入った。クラシック音楽界の登竜門とされる同部門で3年連続の快挙。29日には、たつの市役所で西田正則市長に受賞報告をした写真。

今回の作曲部門に提出したのは、音が出現する瞬間をテーマに作曲したという弦楽四重奏の「EDGE」。76作品の応募があった第1次譜面審査、第2次譜面審査を経て7人の本選出場者の一人に。「受賞にほっとした。今よりいい曲をつくることができれば、また出場したい」と話

す。音楽との出会いは、ピアノ教室を開いていた母、みさのさん(64)の手ほどきを受けた3歳から。中学時代に音楽プロデューサー小室哲哉さんの曲に刺激を受けて作曲に興味を持ち始めた。現代音楽を志し、「既存の曲の音や構成から新しい曲を作り出すのがおもしろい」と言う。日本音楽コンクール本選の様子は9日午前6時、NHKBSプレミアムで放映される予定。